

# 提出していただいた意見とそれに対する市の考え

## < 豊明市公共施設等総合管理計画(案) >

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	<p>都市計画マスタープラン等との整合性の観点から「公共施設厚生トータルデザイン(仮称)」の検証作業を提案。</p> <p>「公共施設厚生トータルデザイン(仮称)」は、必要な場所に必要な公共施設のあり方を総点検するものであって、総括的に検討するプロジェクトチームの構築を提案。</p> <p><b>コンパクトシティへの新展開</b> まちづくりの機能的機能である「住」「働」「憩」の位置付けを基本に公共施設、特に道路、宅地整備が要となる。</p> <p><b>道路整備の新展開</b> 未完成区間に着目した調整と調和を図る。</p> <p><b>宅地化対策の新展開</b> 宅地化の飛躍は、公共施設の確保の上に成り立つ。</p> <p><b>公共施設の適正配置へ展開</b> 都市計画マスタープランにある既定ゾーン毎に必要な公共施設のあり方を定評するため、公共施設厚生トータルデザインを以って有効な手段を講じる必要がある。</p> <p><b>エリアマネジメントと公共施設づくり</b> 公共施設の設置されている場所のあり方が機能面、運用面で重要である。 周辺環境面、アクセス面等良好な関係の確保のためエリアマネジメントを駆使した対応が必要と考える。</p> <p><b>公共施設厚生トータルデザインが示唆するもの</b> 公共施設を今後どのように保全・維持管理していくかについて、総合管理計画として策定されている。 中でもハコモノについては、質的に地域の資産とした位置付けで運用・活用を高める必要がある。 地域の資産として、「必要な場所に必要な施設を確保する」を念頭に需要度(市民ニーズ)と供給度(行政対応)をバランスよく主張した新展開を図る必要性がある。</p> <p>需要度にあっては、ムダの掘り起こしを図り、供給度にあっては誇りある資産化を図ることで、市民納得の計画策定を期待する。</p>	1	<p>多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今回、いただきましたご意見は、公共施設の再配置を進める上で必要な事項として捉え、市の最上位計画である総合計画や都市計画の基本的方針である都市計画マスタープラン等との整合性を図りながら検討して参ります。</p> <p>また、公共施設等総合管理計画の基本的な方針として、総量の縮減を掲げておりますが、削減だけが目的ではありません。</p> <p>公共施設の再配置は、人口減少が予測される中、地域の将来を見据えた視点が必要と考えます。</p> <p>これからのまちづくりは、行政だけでは成り立ちません。ご意見にもあるとおり、公共施設が地域の資産として活用されるために市民の皆様と一緒に進めて参りたいと思います。</p>